

# 第1学年〈A案〉 — 年間学習指導計画作成資料(平成28年度〜) —



※実際の立案に当たっては、各校の実態に応じてA案の題材と差し替えたり教材を変更したりしてご活用ください。

	題材名	題材のねらい	指導事項	主な学習の窓口 〔共通事項〕	教材名	学習目標 (教科書掲載 他)	扱い時数の 目安(計45)
1学期	新しい仲間とともに、 明るい歌声を響かせよう	●歌詞の内容や曲想を感じ取り、自分の歌声に留意しながら、新しい仲間と一緒に表現を工夫して歌う。	歌唱 — ア		We'll Find The Way ~はるかな道へ My Voice!	拍の流れによって明るい声で歌おう。 自分がもっている歌声を見つけよう!	3
	曲の構成を感じ取って、 表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想を感じ取り、曲の構成を生かし、表現を工夫して演奏する。	歌唱 — ア		主人は冷たい土の中に BINGO GAME RHYTHM GAME	曲の構成を感じ取って演奏しよう。 音符、休符、記号の名前を確認しましょう。 下の図を使ってリズムをつくりましょう。	5
	イメージと音楽とのかかわりを感じ取ろう	●イメージと音楽とのかかわりを感じ取って、そのよさや美しさを味わいながら聴き、言葉で説明するなどする。 ●表現したい具体的なイメージをもち、音素材の特徴を感じ取り、反復、変化、対照などの構成を工夫しながら場面に合う音楽をつくる。	鑑賞 — ア 創作 — イ		映画「ジョーズ」から “ジョーズのテーマ”  Let's Create!	イメージをもたらす音楽の秘密を探ろう。 イメージをもとに、構成を工夫して音楽をつくらう。	4
	音楽の特徴から情景を想像しよう	●音楽の特徴を、曲想や背景と関連付けて、そのよさや美しさを味わったり情景を想像したりしながら聴き、言葉で説明するなどする。	鑑賞 — ア, イ		春 — 第1楽章 —	ソネットを手がかりに、曲想の変化を感じ取ろう。	3
2学期	曲想や全体の響きを感じ取って、 表現を工夫しよう	●リコーダーの特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付け、曲想を感じ取りながら表現を工夫して演奏する。 ●歌詞の内容や曲想を感じ取り、旋律のまとまりや全体の響きをとらえたり、言葉の特性を生かしたりしながら、表現を工夫して合唱する。	器楽 — イ 器楽 — ア 歌唱 — ア, ウ 歌唱 — イ, ウ		◆アルトリコーダー LESSON 1 (p.3~9) ◆聖者の行進 (p.50) エーデルワイス Michael, Row The Boat Ashore	リコーダーを演奏しよう。 曲想を感じ取って、表現の仕方を工夫しよう。 3拍子やフレーズを感じ取って歌おう。 階名で歌って、ハーモニーを楽しもう。	5
	詩と音楽とのかかわりを感じ取ろう	●詩の内容と曲想とのかかわりを感じ取って、そのよさや美しさを味わいながら聴き、言葉で説明するなどする。	鑑賞 — ア		魔王	詩の内容と曲想との関わりを感じ取ろう。	3
	曲想やパートの役割を感じ取って、 表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想を感じ取り、へ音譜表の読み方を覚え、パートの役割や旋律の重なり方を感じ取りながら表現を工夫して合唱する。	歌唱 — ウ 歌唱 — ア		パフ 飛び出そう 未来へ	へ音譜表の読み方を覚えて、混声合唱を楽しもう。 歌詞の内容を感じ取り、拍の流れによって歌おう。	3
	日本の民謡やアジアの諸民族の 音楽の特徴を感じ取って、 その魅力を味わおう	●日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴をとらえることで音楽の多様性を感じ取り、そのよさや美しさを味わいながら聴く。 ●民謡にふさわしい発声により、言葉の特性を生かしながら表現を工夫して歌う。 ●日本の音階の特徴を感じ取り、表現を工夫しながら簡単な旋律をつくる。	鑑賞 — イ, ウ 鑑賞 — イ, ウ 歌唱 — イ 創作 — ア		日本の民謡 アジアの諸民族の音楽 ソーラン節 My Melody	人々の暮らしから生まれた日本の民謡に親しみ、そのよさを味わおう。 アジア各地の音楽に触れ、そのよさを味わおう。 声や音楽の特徴を感じ取って歌おう。 日本の音階を使って旋律をつくらう。	6
3学期	日本の歌のよさや美しさを 感じ取って、表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想から日本の歌のもつ情緒を感じ取り、情景を思い浮かべながら、表現を工夫して表情豊かに歌う。	歌唱 — ア 歌唱 — ア, ウ		心の歌 赤とんぼ (共通教材) 歌い継ごう 日本の歌	情景を思い浮かべながら、思いをこめて歌おう。 地域や他の国との交流、行事など、さまざまな場面で歌おう。	3
	箏曲の特徴を感じ取って、 その魅力を味わおう	●箏曲の特徴と背景とのかかわりをとらえることで音楽の多様性を感じ取り、そのよさや美しさ、箏の音色を味わいながら聴く。 ●箏の特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付けて演奏する。 ●箏を平調子に調弦してその音階の特徴を感じ取り、表現を工夫して簡単な旋律をつくる。	鑑賞 — イ, ウ 器楽 — イ 創作 — ア		六段の調 ◆虫づくし、姫松、さくらさくら (p.24~29) ◆ My Melody (p.30, 31)	日本の伝統音楽に親しみ、そのよさを味わおう。— 箏曲 — 箏を演奏しよう。 箏を平調子に調弦して旋律をつくらう。	5
	仲間とともに、 表情豊かに合唱しよう	●歌詞の内容や曲想を感じ取り、パートの役割や全体の響きをとらえ、仲間と一緒に表現を工夫して表情豊かに合唱する。	歌唱 — ア, ウ 歌唱 — ア, ウ		カリブ 夢の旅 心通う合唱 指揮をしてみよう!	曲想を感じ取って、速度や強弱の変化を生かした表現を工夫しよう。 仲間といっしょに表現を工夫して、表情豊かに合唱しよう。 指揮をするときのポイントをつかもう。	5
	※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。					国歌 君が代	